

## 第34回はばたきアーチェリー大会申合せ事項

- 1 全ての種目において、1立（1人1的）での実施とする。  
4分6本→矢取りの順序にて行う。  
練習は2回行う。  
各部門ともリカーブは80cm標的面、コンパウンドは48cm6リング標的面を使用する。  
ただし、③④については80cm標的面で統一する。  
①②③については、前半36射、後半36射、合計72射行う。  
④については、36射のみで行う。
- 2 ⑤決勝大会についても各種目、予選同様の行射数とする。  
4分6本→矢取りの順序にて行う。  
練習は2回行う。  
使用上のについても、予選と同様とする。
- 3 何らかのトラブルで行射が中断されたときは、トラブル解消後、1射につき40秒間を与え、再開する。  
ただし、弓具故障の対応時間は最大5分間とする。
- 4 行射終了後はスコープを覗くなどはせずに、速やかにシューティングラインから離れること。  
また、車椅子等の選手は弓を膝の上に置き、行射終了が審判員にわかるようにすること。
- 5 看的は感染予防の観点から、相互看的は行わず、係員が行う。  
また、行射に際して介助者が必要な場合は、各自で手配すること。
- 6 時間管理は、電光掲示及びブザーによって行う。
- 7 スコアカード提出時は、必要事項をみれなく記入し、集計チェックを行ってから提出すること。
- 8 競技中に中止の判断が下された場合は、その時点の合計点数を参考記録として、順位づけを行う。
- 9 雷の音、または光を1回以上確認した際、プレーを中断しその時点で大会は終了し、試合進行中の場合は、項目8の通り順位を決定する。
- 10 その他、競技進行に関しては審判長の注意・指示に従うこと。